

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	坂田和巳
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3531
事務事業名	4215 交通安全施設整備事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	03021600 交通安全対策の推進										
予 算	会計	01 一般会計									
科 目	科目	080204 土木費・道路橋梁費・交通安全施設費									
事 業	事業	010000 交通安全施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
交通安全対策の充実、交通安全施設の整備を行う。						交通安全施設整備として道路反射鏡、防護柵、区画線、道路標識の新設及び更新を順次進める。市民の交通安全への関心が高く、安全施設に対する要望は多い。万一の事故発生を未然に防ぎ道路管理者の責任を果たす役割は大きい。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置
平成26年度 予定	平成27年度 予定
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		14,244	14,183
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		14,244	14,183
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,244.0	14,183.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,009	消耗品費 修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	9,998	交通安全施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	237	手数料 保険料 補修用材料費 自動車重量税

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,015	消耗品費 修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	10,000	交通安全施設整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	168	手数料 補修用材料費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の交通安全への関心が高く、安全施設に対する要望は多い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市道、農林道の安全施設の老朽化が進み、修繕を必要としている箇所が増加している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	交通安全施設整備の優先順位を広範な角度から検討する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

交通安全施設整備として道路反射鏡、防護柵、区画線、道路標識の新設及び更新を順次進める。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

整備の優先順位を広範囲な角度から検討し、効果的な予算配分を行う。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

市民の交通の安全を図る上で、交通安全施設整備を関係機関と連携を取り進めていく

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--